



**OnTime for Microsoft  
Ver.2.7.x Rev.1**

## OnTime サーバー インストール・アップグレード マニュアル 目次

---

<b>1.概略</b>	
OnTime for Microsoft について	2018/07/02
OnTime for Microsoft インストール アウトライン	2018/06/29
OnTime for Microsoft アップグレード アウトライン	2017/09/07
<b>2.作業前準備</b>	
Exchange管理センターでOnTimeが利用する配布グループを準備します。	2018/06/29
Exchange管理センターで役割グループを作成します。	2018/06/29
<b>3.SQL環境構築</b>	
SQLサーバーをインストールします	2018/06/29
<b>4.OnTimeインストール</b>	
OnTimeのインストール作業	2018/07/02
OnTimeのアップグレード作業	2018/07/02
<b>5.OnTime管理センター</b>	
OnTime管理センターにログインします	2017/09/07
ダッシュボード	2018/07/02
ライセンス登録	2018/07/02
言語設定	2018/07/02
データベース設定	2018/07/02
サーバー-サーバー設定	2018/07/02
サーバー-同期ソース	2018/07/02
グローバル設定-バックエンド	2018/07/02
グローバル設定-フロントエンド	2017/09/07
グローバル設定-名前書式	2017/09/07
ユーザー設定-メンバー	2017/09/07
ユーザー設定-デフォルト設定	2017/09/07
グループ設定-設定	2017/09/07
グループ設定-静的グループ	2018/07/02
グループ設定-動的グループ	2017/09/07
凡例	2017/09/07
<b>6.その他</b>	
FAQもご参照下さい	2018/07/02

## OnTime for Microsoft について

OnTime for Microsoftは下図でいうSQLサーバーとTomcatサーバー(OnTimeサービスを含む)で動作します。必要とするサーバースペックはご利用になる環境によって変わってきます。

また本マニュアルは簡単インストールを目的にデフォルトでのインストール方法をご案内しています。各種カスタマイズを行う場合、詳しくは販売パートナーにご相談下さい。

### OnTime構成

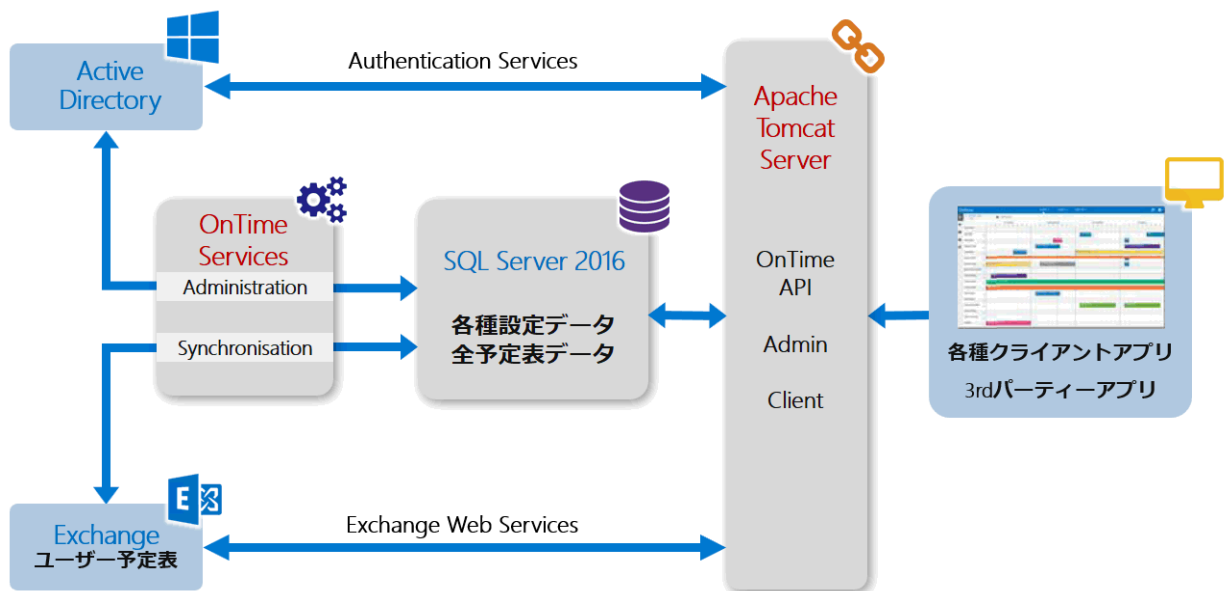
- | SQLサーバー..... 各種設定や予定データのリアルタイムキャッシュを保持しています。
- | Tomcatサーバー..... ユーザー画面及び管理画面及びExchangeのデータ同期をまかさないます。

### 使用TCPIPポート

- | Admin Center ポート8080番。
- | Desktop 80/443番を設定できます。

### SSOについて

- | Form paththru 認証 OnTime内でログイン画面にExchangeのユーザー/パスワードの入力
- | Windows SSO 認証 ご利用のWindowsのIEの認証機能を利用します。ADのメール属性への登録が必須。
- | ADFS(SAML) SSO 認証 ADFSのフェデレーションをOnTimeサーバーと構成します。
- | メール ワンタイム認証 メールボックスに認証用Tokenを送信し本人を識別します。



## OnTime for Microsoft インストール アウトライン

---

OnTimeのインストールは以下の手順に沿って行います。

1. Exchange管理センターでユーザー、会議室、備品それぞれの配布グループを準備します。
2. Exchange管理センターでOnTimeが接続に利用するユーザーに"ApplicationImpersonation"役割を付与します。
3. OnTime用にWindows2008 R2以上のサーバーを準備します。
4. SQL Server 2014以上をインストールします。
5. ダウンロードしたプログラムファイルからTomcatをインストールします。
6. OnTime管理センターで各種設定を行います。

## 1.概略 -

# OnTime for Microsoft アップグレード アウトライン

---

1. 旧バージョンのフォルダで各アンインストールプログラムを実行します。
2. 新しいプログラムフォルダからアップグレードプログラムを実行します。
3. OnTime管理センターで追加の設定を行います。

## 2.作業前準備 -

### Exchange管理センターでOnTimeが利用する配布グループを準備します。

ご利用のExchange環境からOnTimeを利用するユーザーを配布グループとして準備します。OnTime内ではユーザー、会議室、備品は個別に管理されますのでそれぞれ個別に準備します。作成する際、「このグループをアドレス一覧に表示しない」のチェックは必ず外してください。本マニュアルでは以下の様な名前で配布グループをそれぞれ準備します。

配布グループの作成方法はExchange管理者にご確認下さい。

- | ユーザー..... OnTimePersons@組織ドメイン
- | 会議室..... OnTimeRooms@組織ドメイン
- | 備品..... OnTimeEquipments@組織ドメイン

## Exchange管理センターで役割グループを作成します。

OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeに接続する際は、1人のユーザーアカウントが全ユーザーをImpersonation(日本語で演技や偽装)してスケジュールデータの入出力を行います。  
なのでOnTimeからEWSに接続するImpersonationユーザーアカウントにExchangeにデフォルトで実装されている“ApplicationImpersonation” ロールを付与する必要があります。

詳細は以下のFAQを参照するかExchange管理者にご確認下さい。  
「Exchange側でのImpersonation Userの設定方法」  
<http://www3.ontimesuite.jp/impersonation/>

本マニュアルではEWSに接続するユーザーを「OnTimeAdmin@組織ドメイン」とします。

### 3.SQL環境構築 -

## SQLサーバーをインストールします

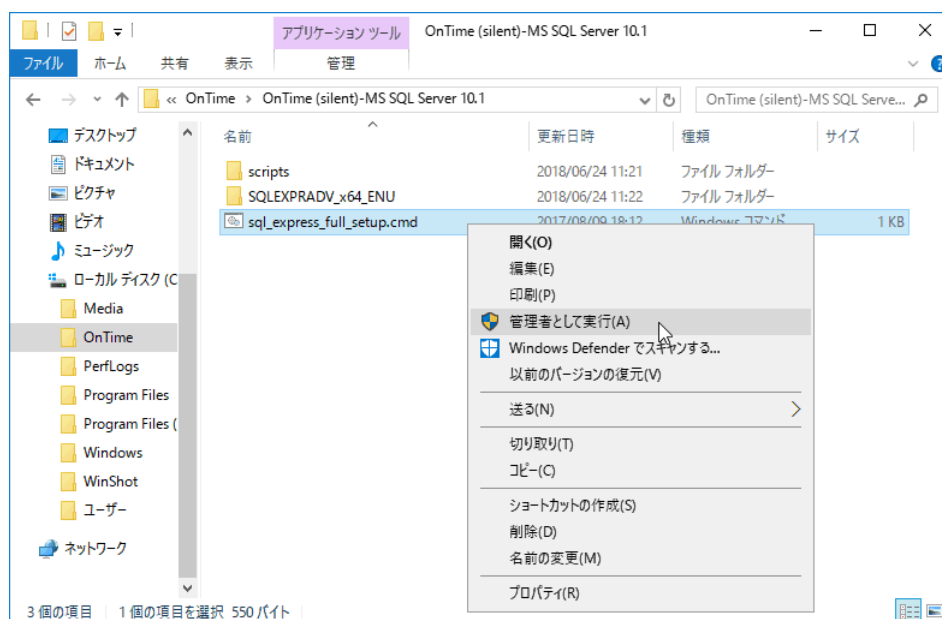
Microsoft SQL Server® 2016 Expressをインストールします。

OnTimeのサイトでは最新版のSQLを簡単インストールするスクリプトを提供しています。

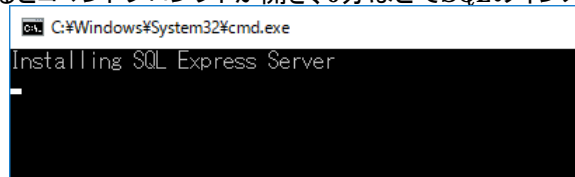
以下のURLからMS SQL 2016 Expressとサイレントインストール用のスクリプトをダウンロード出来ます。  
<http://file.ontimesuite.com/SQLEXPRESS>

このサイレントインストールスクリプトでは「SQL Server Management Studio」のインストールはされません。  
必要な場合はマイクロソフトのサイトからインストールして下さい。現時点のダウンロードリンクは以下です。  
<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/ssms/download-sql-server-management-studio-ssms>

圧縮ファイルを展開したフォルダから以下のように「sql\_express\_full\_setup.cmd」を選択し  
マウス右ボタンメニューから管理者で実行を選択して下さい。



するとコマンドプロンプトが開き、5分ほどでSQLのインストールが完了します。



コマンドプロンプトが閉じると同じフォルダに"installLog.txt"が生成されています。

このサイレントインストールでは以下の内容が実行されます。

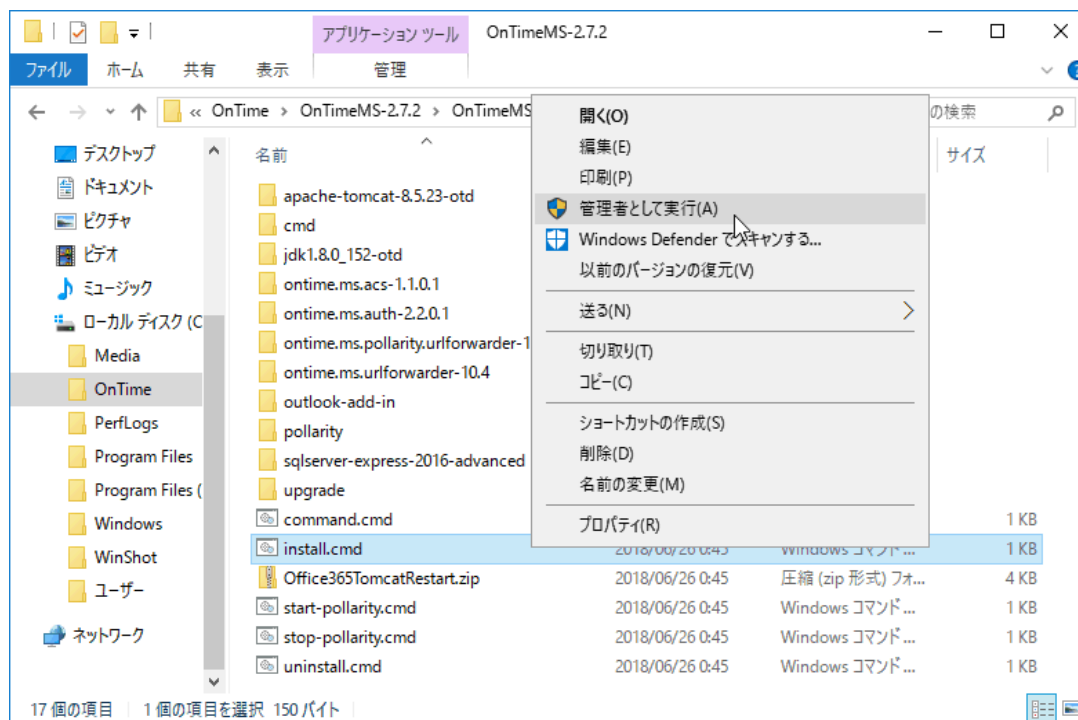
- | 以下のフォルダにSQL Serverがインストールされます。  
C:\Program Files\Microsoft SQL Server
- | TCP/IPを有効にし、ポート1433番をListenにします。



#### 4. OnTimeインストール -

### OnTimeのインストール作業

サイトからダウンロードしたzipファイルを展開すると以下の様なファイル構成になっています。  
install.cmdを選択し、マウス右ボタンメニューから管理者として実行します。



すると以下の様なコマンドスクリプトが実行され、順調に進んでいる際は適宜エンターキーを押して下さい。

```

C:\Windows\System32\cmd.exe
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>SET ontime_db_name=[ontimems.24.3]
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>sqlcmd /h-1 -i ".\sqlserver-express-2016-advanced\set_syslogin.sql" |>set_ontime_login.cmd
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>CALL set_ontime_login.cmd
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>SET ontime_login=[NT AUTHORITY\SYSTEM]
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>sqlcmd -i ".\sqlserver-express-2016-advanced\ontimems-create.sql"
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>sqlcmd -i ".\sqlserver-express-2016-advanced\ontimems.24.3.sql"
Changed database context to 'ontimems.24.3'.
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>sqlcmd -i ".\sqlserver-express-2016-advanced\ontimems-user.sql"
Changed database context to 'ontimems.24.3'.
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>PAUSE
続行するには何かキーを押してください . . .
  
```

最終的に以下の様な画面が出て完了です。

```
C:\Windows\System32\cmd.exe
a;ise;loginTimeout=15;lockTimeout=1;lastUpdateCount=true;encrypt=false;disableStatementPooling=true;databaseName=pollarity;columnEncryptionSetting=Disabled;applicationName=Microsoft JDBC Driver for SQL Server;applicationIntent=readwrite;(Microsoft SQL Server 13.0)
Successfully validated 10 migrations (execution time 00:00.103s)
SQL Server does not support setting the schema for the current session. Default schema NOT changed to dbo
Executing SQL callback: beforeMigrate
WARNING: DB: Changed database context to 'pollarity'. (SQL State: S0001 - Error Code: 5701)
WARNING: DB: Processed 344 pages for database 'pollarity', file 'pollarity' on file 1. (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: Processed 3 pages for database 'pollarity', file 'pollarity_log' on file 1. (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: BACKUP DATABASE successfully processed 347 pages in 0.083 seconds (32.661 MB/sec). (SQL State: S0001 - Error Code: 3014)
Creating Metadata table: [dbo].[schema_version]
Current version of schema [dbo]: << Empty Schema >>
Migrating schema [dbo] to version 1 - create all tables release 1
Migrating schema [dbo] to version 2 - temporary add email date
Migrating schema [dbo] to version 3 - add dates to polls and users
Migrating schema [dbo] to version 4 - add timezone to poll
Migrating schema [dbo] to version 5 - add user email to failed call
Migrating schema [dbo] to version 6 - add casesensitivity to placeholder ids
Migrating schema [dbo] to version 7 - set owner not null
Migrating schema [dbo] to version 8 - add config table
Migrating schema [dbo] to version 9 - add custom user emails
Migrating schema [dbo] to version 10 - non null created updated
Successfully applied 10 migrations to schema [dbo] (execution time 00:00.696s).
続行するには何かキーを押してください . . .
Installing the service 'Pollarity' . . .
Using CATALINA_HOME: "C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\pollarity\cmd\..\..\apache-tomcat-8.5.23-otd"
Using CATALINA_BASE: "C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\pollarity\cmd\..\tomcat"
Using JAVA_HOME: "C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\pollarity\cmd\..\jdk1.8.0_152-otd"
Using JRE_HOME: "C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\pollarity\cmd\..\jdk1.8.0_152-otd\jre"
Using JVM: "C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\pollarity\cmd\..\jdk1.8.0_152-otd\jre\bin\server\jvm.dll"
The service 'Pollarity' has been installed.
Do you want to enable pollarity? (y/n) :y
Apache Tomcat 8.5 Pollarity サービスを開始します。
Apache Tomcat 8.5 Pollarity サービスは正常に開始されました。

[SC] ChangeServiceConfig SUCCESS
Pollarity was successfully started.
続行するには何かキーを押してください . . .
```

- このインストールコマンドでは以下の内容が実行されます。
- 1 OnTimeのデータベースをローカルのSQL Serverに「ontimems.x.x」として作成します。
  - 1 NT AUTHORITY\USER を「ontimems.x.x」のuserとして「api role」付きで設定します。
  - 1 Windows サービス「OnTimeMSAuth」をAD-DS向けのSSOの機能としてインストールします。
  - 1 Windows サービス「OnTimeMS URL Forwarder」を接続するTCP/IPのポート制御機能としてインストールします。
  - 1 OnTimeが使用するためにTomcatをインストールします。
  - 1 PollarityデータベースをローカルのSQL Serverに「Pollarity」として作成します。
  - 1 Windows サービス「Pollarity(日程調整) URL Forwarder」がTCP/IPのポート制御のためにインストールします。
  - 1 OnTime Pollarity(日程調整)が使用するためにTomcatをインストールします。
  - 1 最後に「Pollarity(日程調整)機能」を有効にするか確認されます。"y"を押すとWindowsサービスは開始します。

「Pollarity(日程調整)機能」は有料オプションです。上記でサービスを有効しただけでは費用は発生しません。また上記サービスを有効にした上で、正規のオプションライセンスを組み込んで管理センターにて設定しないとPollarity(日程調整)機能自体は動作いたしません。

これでインストールは完了なので次ページのとおり「OnTime管理センター」に接続して下さい。

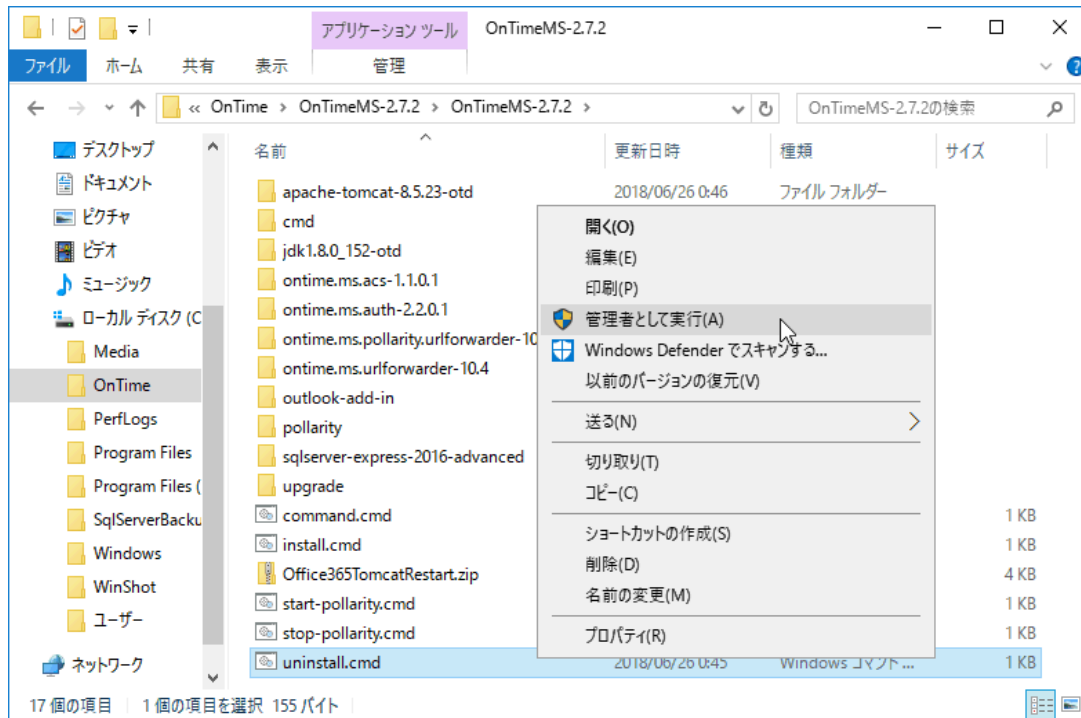
#### 4.OnTimeインストール -

### OnTimeのアップグレード作業

アップグレードの場合、既存バージョンをアンインストールしてから新バージョンをインストールします。

現行バージョンのOnTimeのフォルダに移動します。

uninstall.cmdを選択し、マウス右ボタンメニューから管理者として実行します。



すると以下の様なコマンドスクリプトが実行され、順調に進んでいる際は適宜エンターキーを押して下さい。

```

C:\Windows\System32\cmd.exe

SERVICE_NAME: ontime.ms.pollarity.urlforwarder
        TYPE               : 10  WIN32_OWN_PROCESS
        STATE                : 4   RUNNING
                        (STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGNORES_SHUTDOWN)
        WIN32_EXIT_CODE       : 0   (0x0)
        SERVICE_EXIT_CODE   : 0   (0x0)
        CHECKPOINT           : 0x0
        WAIT_HINT            : 0x0

C:\OnTime\OnTimeMS-2.7\OnTimeMS-2.7\ontime.ms.pollarity.urlforwarder-10.4>sc delete "ontime.ms.pollarity.urlforwarder"
[SC] DeleteService SUCCESS
続行するには何かキーを押してください . . .

C:\OnTime\OnTimeMS-2.7\OnTimeMS-2.7\ontime.ms.urlforwarder-10.4>sc stop "ontime.ms.urlforwarder"

SERVICE_NAME: ontime.ms.urlforwarder
        TYPE               : 10  WIN32_OWN_PROCESS
        STATE                : 3   STOP_PENDING
                        (NOT_STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGNORES_SHUTDOWN)
        WIN32_EXIT_CODE       : 0   (0x0)
        SERVICE_EXIT_CODE   : 0   (0x0)
        CHECKPOINT           : 0x0
        WAIT_HINT            : 0xbb8

C:\OnTime\OnTimeMS-2.7\OnTimeMS-2.7\ontime.ms.urlforwarder-10.4>sc delete "ontime.ms.urlforwarder"
[SC] DeleteService SUCCESS
続行するには何かキーを押してください . . .

```

最終的に以下の様な画面が出て完了です。

```

C:\Windows\System32\cmd.exe
SERVICE_NAME: ontime.ms.auth
        TYPE               : 10  WIN32_OWN_PROCESS
        STATE                : 3   STOP_PENDING
                        (NOT_STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGNORES_SHUTDOWN)
        WIN32_EXIT_CODE      : 0   (0x0)
        SERVICE_EXIT_CODE  : 0   (0x0)
        CHECKPOINT          : 0x0
        WAIT_HINT           : 0x0

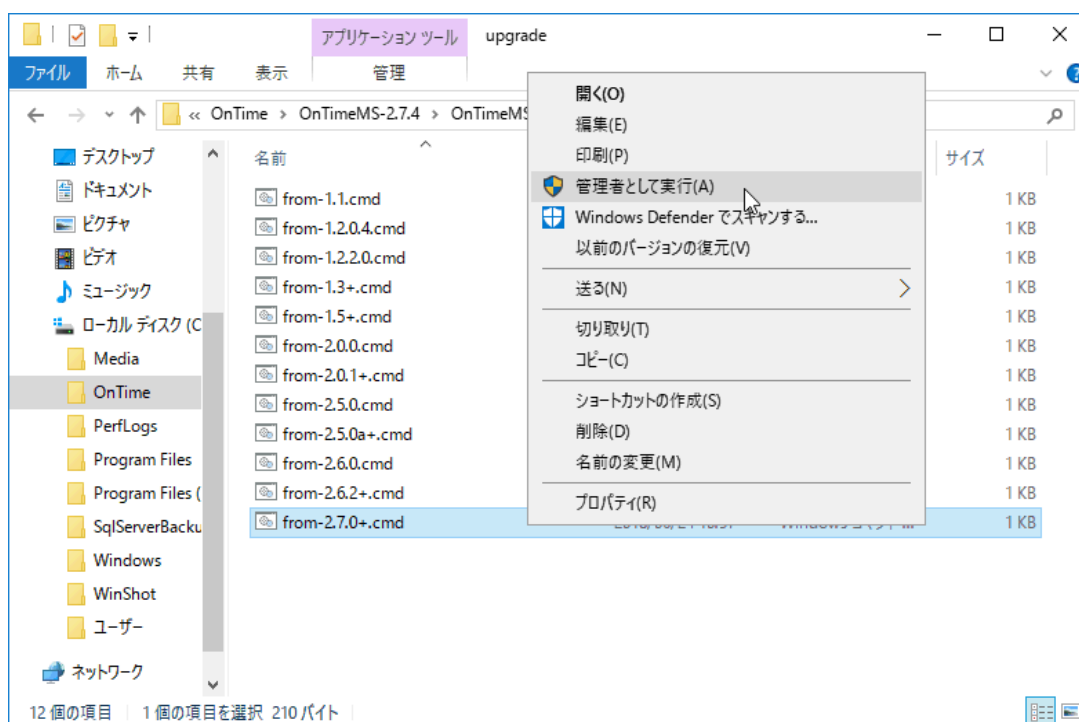
C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\cmd>sc delete "ontime.ms.auth"
[SC] DeleteService SUCCESS
続行するには何かキーを押してください . . .

C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\apache-tomcat-8.5.23-otd\bin>CALL service.bat uninstall
Neither the JAVA_HOME nor the JRE_HOME environment variable is defined
Service will try to guess them from the registry.
Removing the service 'Tomcat8' . . .
Using CATALINA_BASE:   "C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\apache-tomcat-8.5.23-otd"
The service 'Tomcat8' has been removed
続行するには何かキーを押してください . . .
Apache Tomcat 8.5 Pollarity サービスを停止中です。
Apache Tomcat 8.5 Pollarity サービスは正常に停止されました。

Neither the JAVA_HOME nor the JRE_HOME environment variable is defined
Service will try to guess them from the registry.
Removing the service 'Pollarity' . . .
Using CATALINA_BASE:   "C:\OnTime\OnTimeMS-2.7.2\OnTimeMS-2.7.2\pollarity\cmd%.%.¥tomcat"
The service 'Pollarity' has been removed
Pollarity was successfully stopped
続行するには何かキーを押してください . . .

```

次にアップグレードプログラムを実行します。  
 サイトからダウンロードしたzipファイルを展開したOnTimeのバージョンのフォルダに移動します。  
 更にupgradeフォルダに移動します。



ご利用になっていたバージョン名のアップグレードプログラムのcmdファイルを選択し、マウス右ボタンメニューから管理者として実行します。  
 例えば2.7.1をご利用の場合は以下の通りです。

**from-2.7.0+.cmd**を選択し、マウス右ボタンメニューから管理者として実行します。

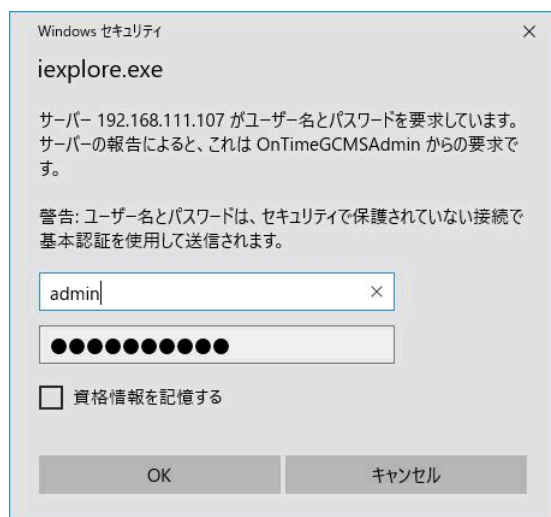
- このプログラムは以下の処理を実行します。
- | 新しいデータベースを作成します。
  - | 新しいテーブルを作成します。
  - | 既存バージョンのデータを新しいデータベースに転送します。
  - | Tomcatサービスをインストールして開始します。
  - | Authサービスをインストールして開始します。
  - | URLForwarderサービスをインストールして開始します。

以上で新バージョンのOnTime管理センターを開くことができます。

## OnTime管理センターにログインします

ブラウザから  
<http://HOSTNAME:8080/ontimegcms/admin>  
を開いてログインして下さい。

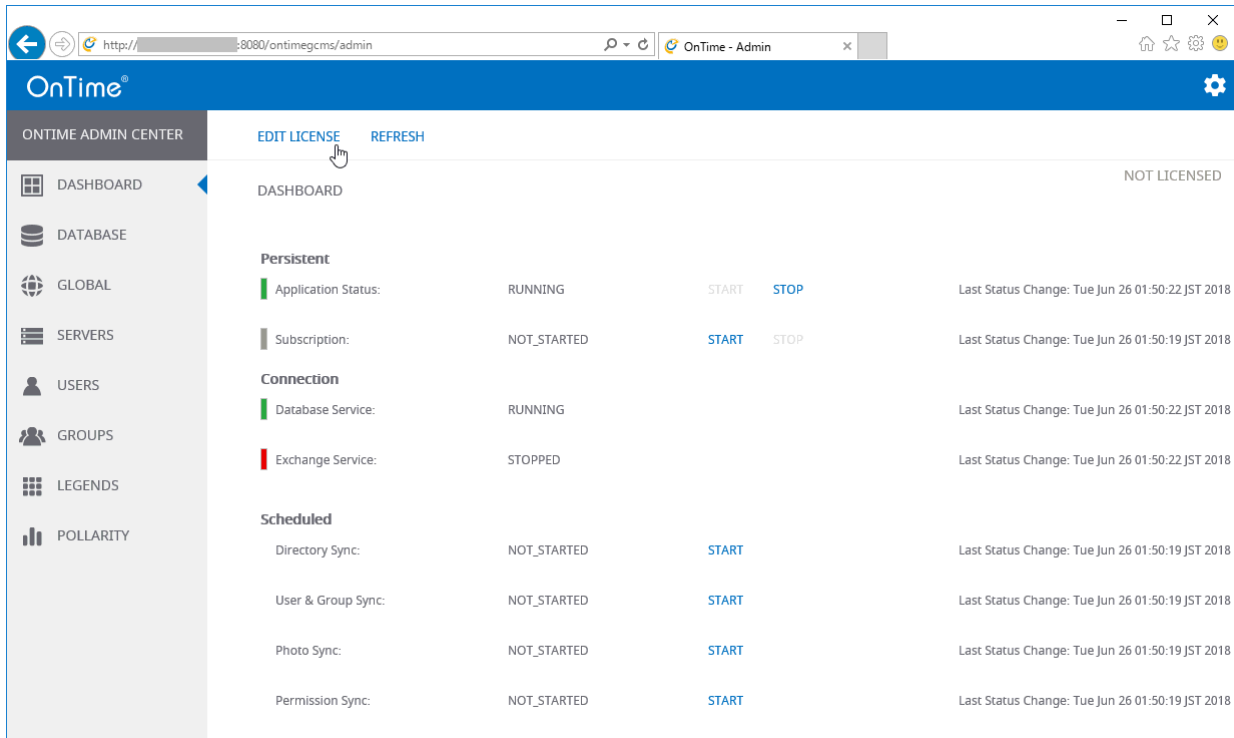
ログイン画面が表示されれば  
ログイン名 : **admin**  
パスワード : **Innovation**  
でログインします。



ログインユーザー名とパスワードのダイジェスト認証への変更は動作するTomcatのユーザー管理に準拠していません。  
詳細は以下のurlをご確認下さい。  
「管理ユーザーのログインパスワードの変更方法」  
<http://www3.ontimesuite.jp/change-pw/>

## ダッシュボード

ログインが完了すると以下の様な画面が表示されます。  
 デフォルトでローカルのSQL Serverに接続されていますのでDatabase Serviceは「RUNNING」になっていることをご確認下さい。  
 各項目については図の下の説明をご確認下さい。  
 ライセンスがアクティベーションされていない場合は右上が「NOT LICENSED」になっていますので次ページのアクティベーションします。

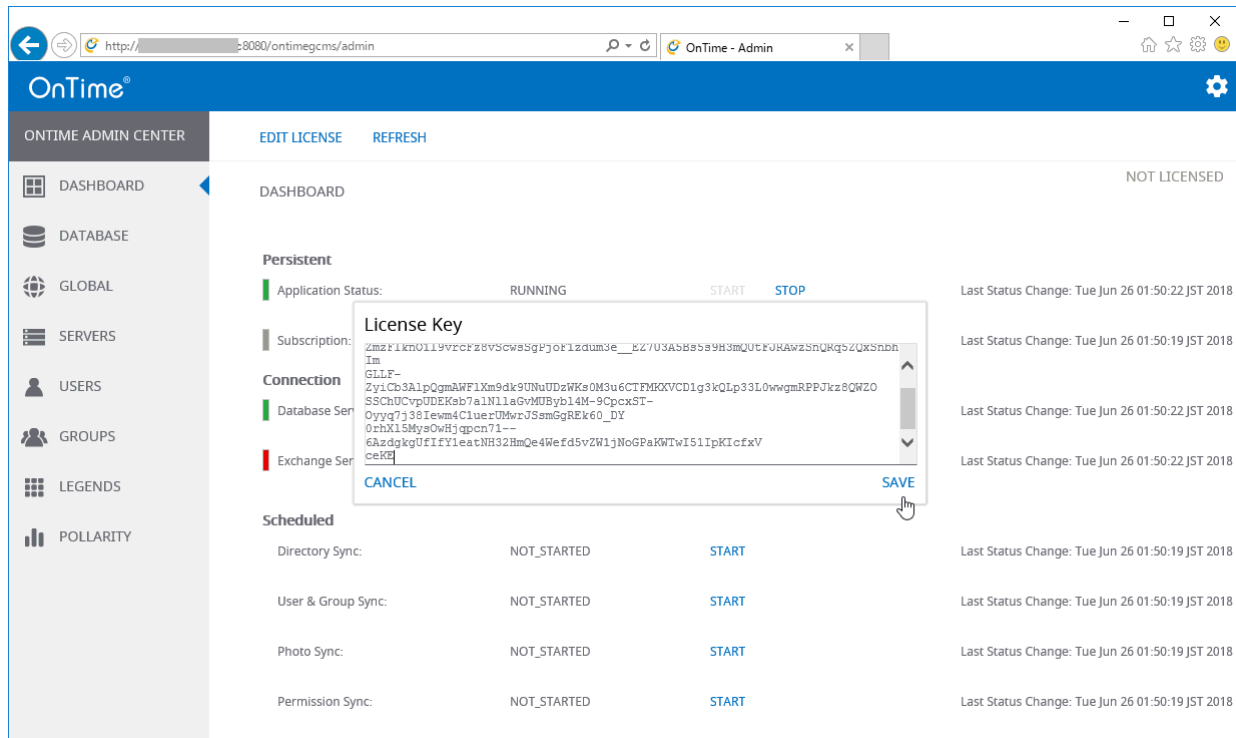


<b>システム状況</b> いずれも通常はグリーンです	
アプリケーションステータス	OnTimeアプリケーションの動作状況のステータスを表示します
OnTimeサブスクリプション	OnTimeのライセンスキーの有効性を表示します
<b>接続状況</b> いずれも通常はグリーンです	
Database Service	SQLデータベースとの接続状況を表示します。
Exchange Service	Exchange EWSとの接続状況を表示します。
<b>スケジュール</b> いずれも通常はSTOPPEDで問題ありません。設定を急いで反映する場合は手動実行出来ます 通常は自動実行され、Eventはほぼリアルタイム、他はAdmin処理で深夜2時に実行されます	
Directory Sync	Exchangeからユーザー/グループを更新します
OnTime User Sync	Exchangeユーザ/グループをOnTime SQLテーブルに同期させます
Photo Sync	Exchange 2013サーバーからユーザーの顔写真をインポートします Exchange2010以前はサポートしません
Permission Sync	他のユーザーのカレンダーを更新するためのユーザーのアクセス権限を更新します
Event Sync	すべてのユーザーのカレンダーエントリを同期します。起動時と手動実行時はかなりの時間がかかります

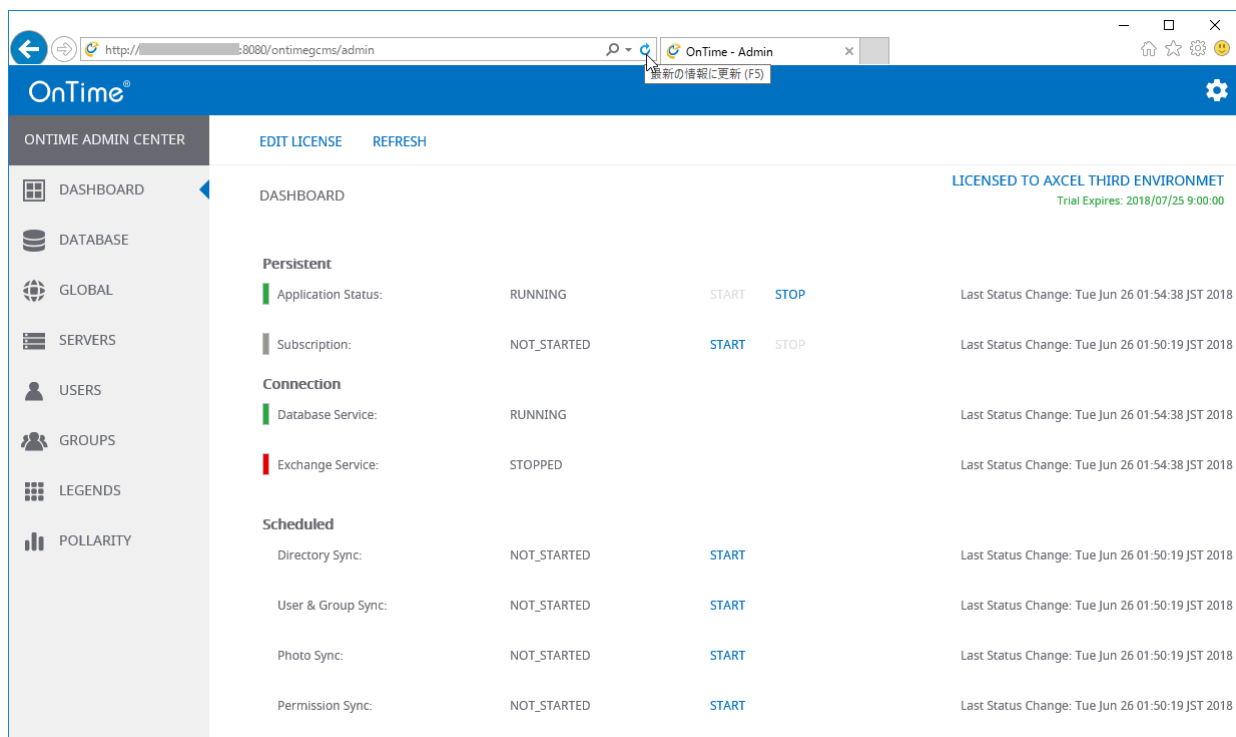
## 5. OnTime 管理センター

### ライセンス登録

OnTime のライセンスは、乱数のような文字列で提供しております。  
 取得したライセンスキーの登録は左上の「ライセンスの編集 (EDIT LICENSES)」をクリックして登録用ダイアログを表示します。  
 表示されたら前述の文字列を登録して「保存 (SAVE)」を実行します。



ブラウザのキャッシュが効いているので正しく表示されない場合はブラウザでリフレッシュ (F5) 後に Application Status の「停止 (STOP)」と「実行 (START)」を行って下さい。  
 アクティベーションが正常に完了すると下図の様に右上にライセンス情報が表示されます。



右上のライセンス名をクリックすると下図の様なダイアログが開きます。(下図は日本語画面で表示しています)

The screenshot shows the OnTime Admin interface with a modal dialog for license information. The dialog displays the following details:

- 組織: AXCEL Third environmet
- アプリケーション: ONTIMEB
- AppID: Admin,Desktop,Mobile,Pollarity,Catering,ApiExplorer
- 最大ユーザー数: 5 / 10000
- 期限: 2018/07/25 9:00:00

The dialog also shows a 'ライセンスキー' (License Key) field with the value '(present)'. Below the dialog, a table lists synchronization tasks and their status:

タスク名	ステータス	操作	最終実行日時
Directory Sync	STOPPED	実行	Mon Jul 02 02:00:02 JST 2018
OnTime User Sync	STOPPED	実行	Mon Jul 02 02:00:03 JST 2018
Photo Sync	STOPPED	実行	Mon Jul 02 02:00:10 JST 2018
Permission Sync	STOPPED	実行	Mon Jul 02 02:00:08 JST 2018

ご利用のライセンス情報についてはいつでもこのダイアログを表示することで確認出来ます。

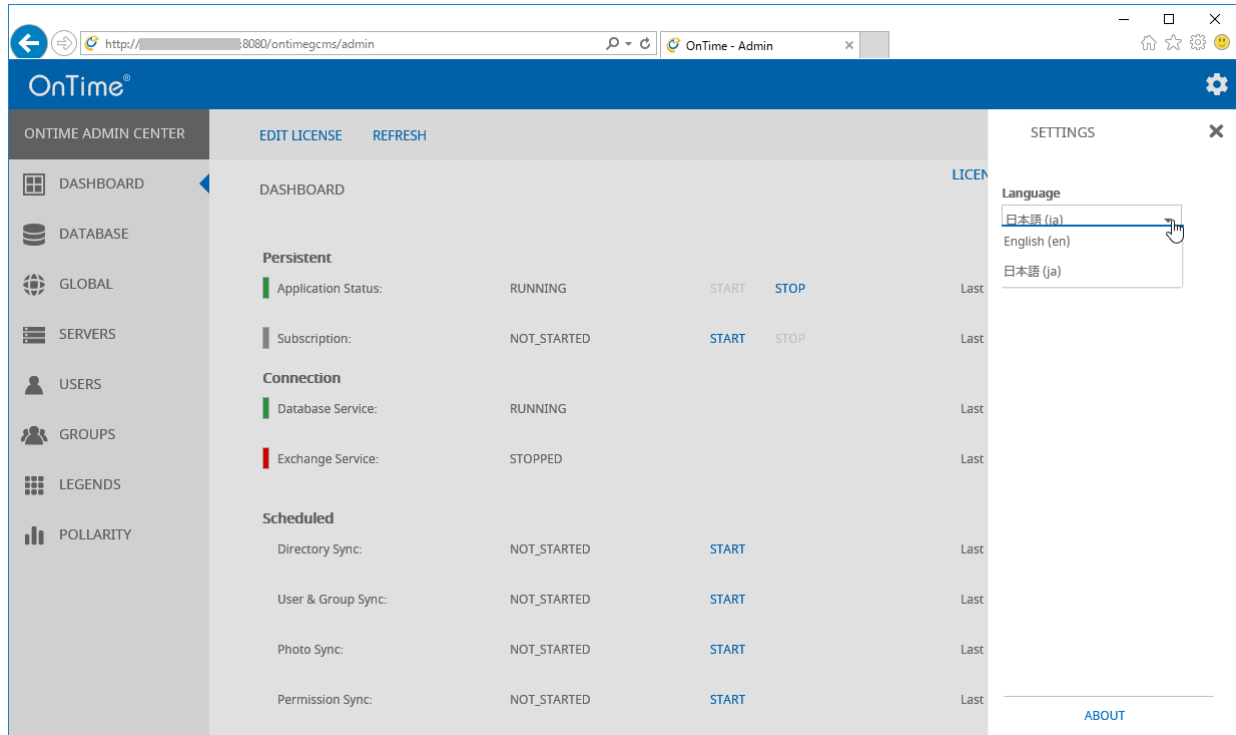
ライセンス発行時に必要となるUSERDOMAIN情報については以下のFAQを参照下さい。

<http://www3.ontimesuite.jp/userdomain/>



## 言語設定

OnTime 管理センターは英語と日本語をサポートしています。  
画面右上の歯車アイコンをクリックして適宜切り替えて下さい。



The screenshot shows the OnTime Admin Center interface. The browser address bar displays `http://:8080/ontimegms/admin`. The page title is "OnTime - Admin". The main content area is titled "ONTIME ADMIN CENTER" and includes a sidebar with navigation options: DASHBOARD, DATABASE, GLOBAL, SERVERS, USERS, GROUPS, LEGENDS, and POLLARITY. The main content area is divided into sections: "EDIT LICENSE" and "REFRESH" at the top, followed by "DASHBOARD", "Persistent" (Application Status: RUNNING), "Connection" (Database Service: RUNNING, Exchange Service: STOPPED), and "Scheduled" (Directory Sync, User & Group Sync, Photo Sync, Permission Sync). A "SETTINGS" dropdown menu is open in the top right corner, showing options for "Language": 日本語 (ja), English (en), and 日本語 (ja). An "ABOUT" link is visible at the bottom of the settings menu.

## データベース設定

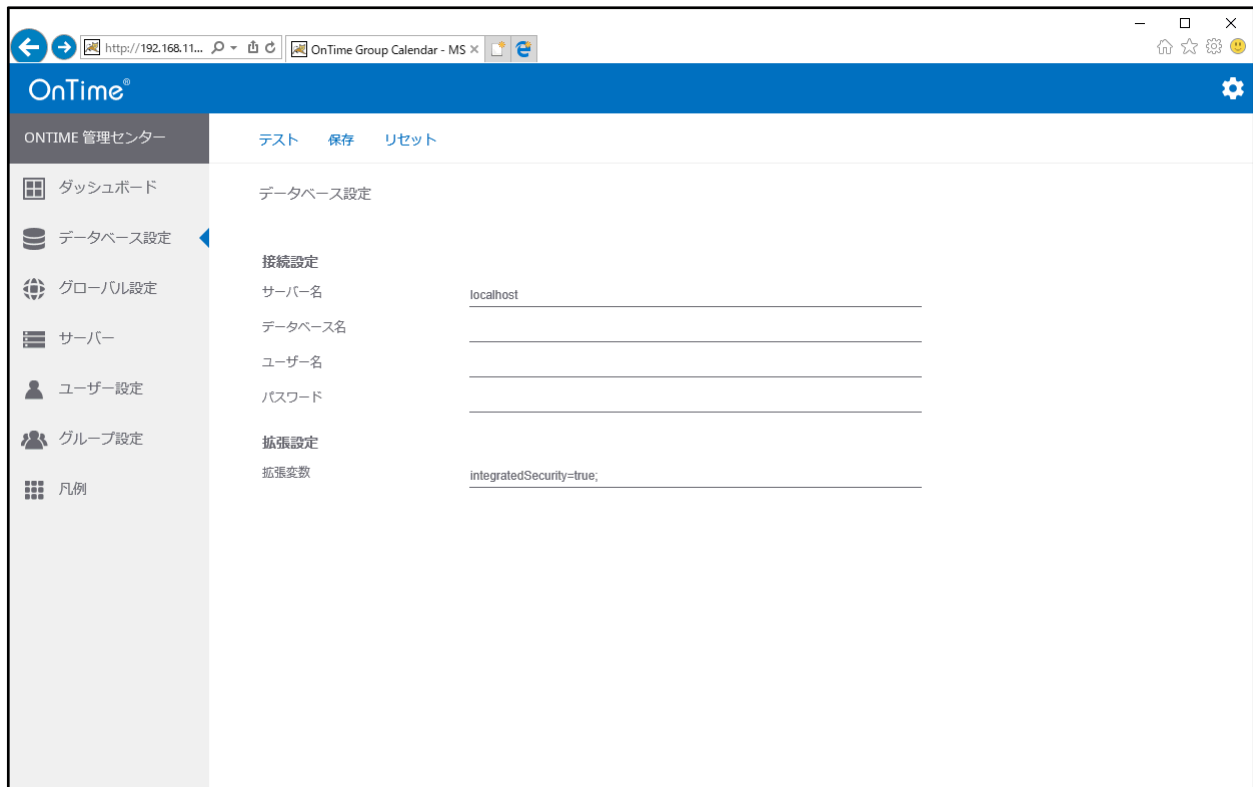
OnTimeの設定や同期データは全てSQLデータベースに保存されます。

設定箇所はメニュータブで「データベース設定」になります。

必要時は適宜値を変更して下さい。

デフォルトでは同じサーバーにインストールされたSQLサーバーに接続しますので

- | サーバー名に「localhost」
  - | 拡張変数に「integratedSecurity=true;」
- だけが登録されています。



項目名	内容
サーバー名	localhost もしくは SQLが稼働する外部ホスト名を入力 例:localhost localhostの場合、通常は「localhost」
データベース名	localhostの場合、通常は空白
ユーザー名	localhostの場合、通常は空白
パスワード	localhostの場合、通常は空白
拡張変数	SQLとの接続に必要な追加変数がある場合は登録します localhostの場合、通常は「integratedSecurity=true;」

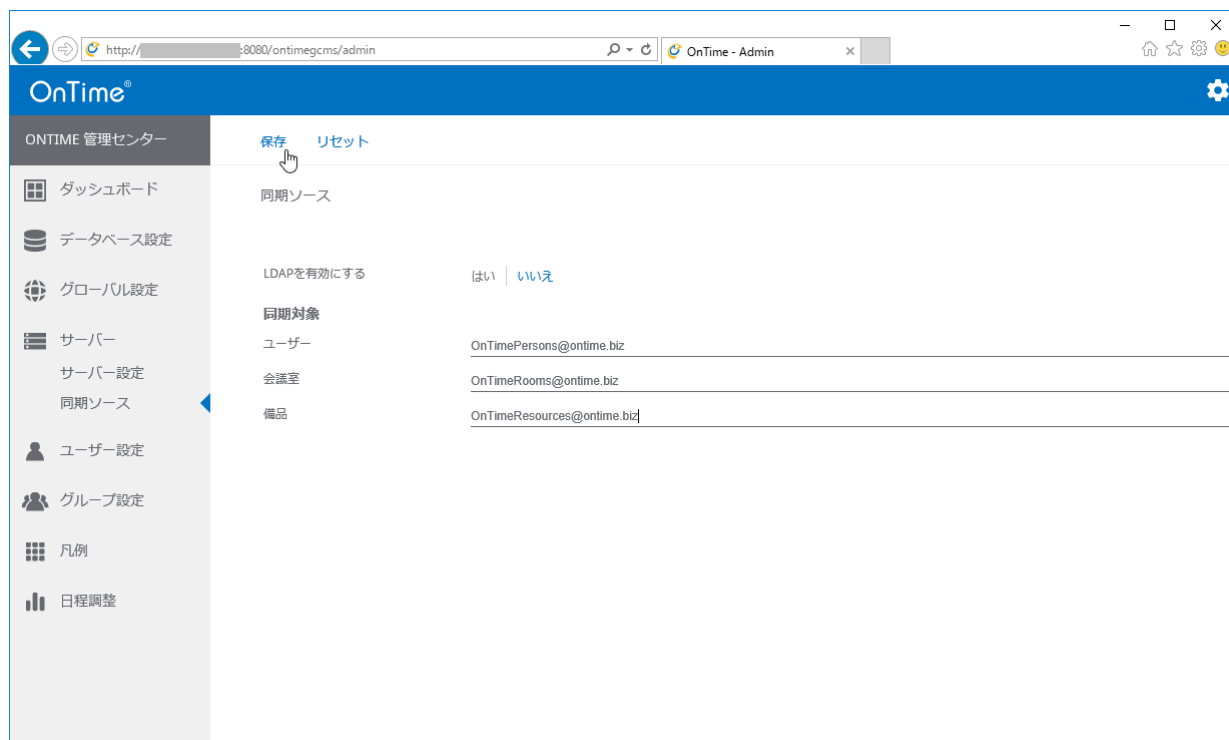
## サーバー-サーバー設定

このページではExchangeサーバー(Exchange Onlineを含みます)への接続設定を行います。

<b>同期設定</b> ExchangeのEWSに接続するApplicationImpersonationのユーザー情報です。予めご準備下さい。	
Impersonation User名	通常はメールアドレス形式での登録です。 "\"を使用したドメインネームで登録時はローカルパートを設定してください。
パスワード	パスワードを設定してください。
ドメイン	"\"を使用した登録の際はドメイン名を設定してください。
<b>サーバーPath</b> Exchangeサーバーの情報です	
EWS URL	オンプレのExchangeの場合は適宜変更してください。Office365の場合はデフォルトです。 <a href="https://outlook.office365.com/EWS/Exchange.asmx">https://outlook.office365.com/EWS/Exchange.asmx</a>
Autodiscover URL	オンプレのExchangeの場合は適宜変更してください。Office365の場合はデフォルトです。 <a href="https://outlook.office365.com/autodiscover/autodiscover.svc">https://outlook.office365.com/autodiscover/autodiscover.svc</a>
Exchange Version	ご利用のExchangeのバージョンを選択してください。Office365は「Exchange2013または新規」の方を選択してください。
<b>Proxy</b> OnTimeサーバーからExchangeサーバーにProxyを経由する必要がある場合は設定してください。	
ホスト名	ホスト名を設定してください。
ポート番号	ポート番号を設定してください。

## サーバー-同期ソース

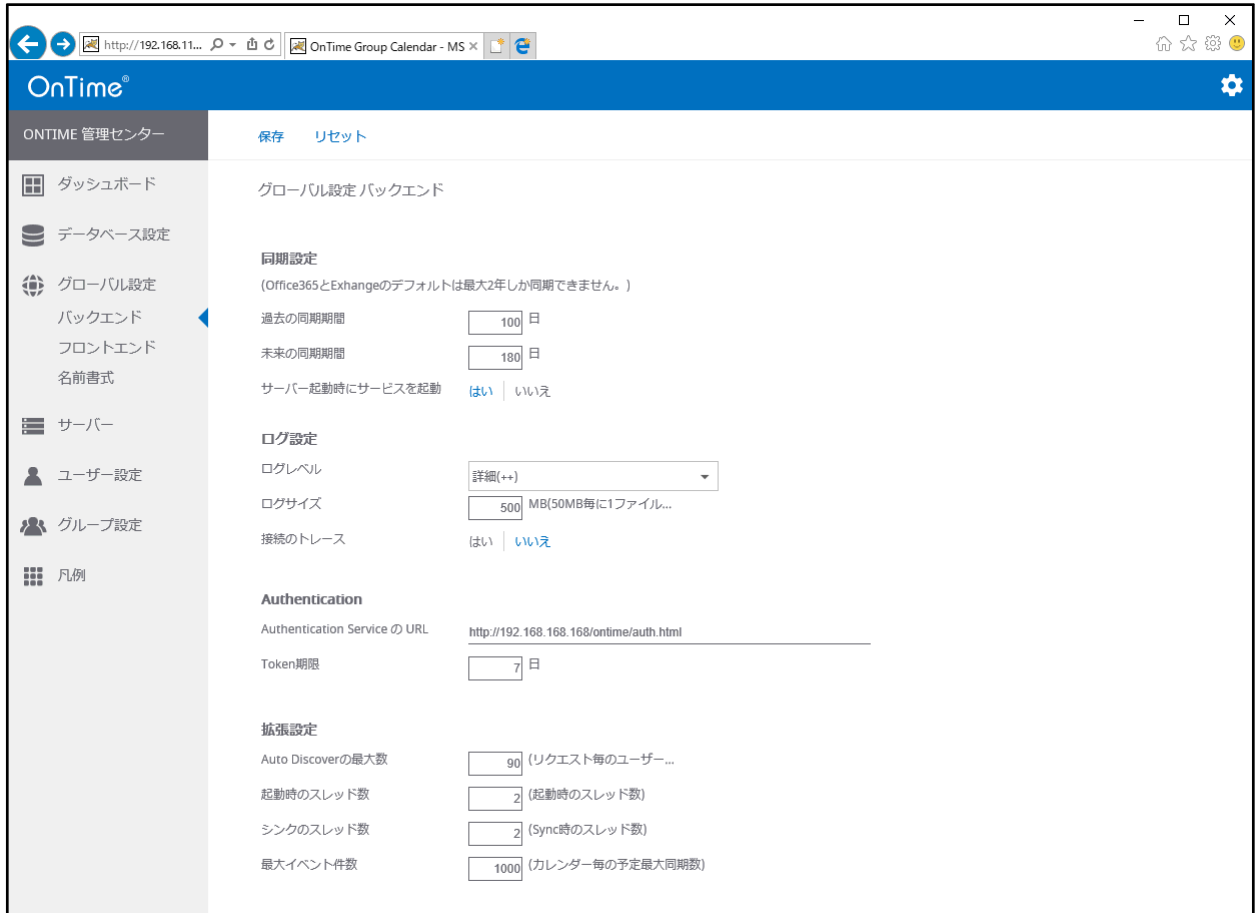
このページではExchangeと同期するユーザーやリソースを指定できます。  
予め準備したユーザー、会議室、備品、それぞれの配布グループを登録してください。  
複数のグループアドレスを登録する際はカンマで区切ってください。



「LDAPを有効にします」は思わぬ結果の可能性もございますので十分にテストの上でご利用下さいませ。

## グローバル設定-バックエンド

このページではOnTimeサーバーのバックエンドの同期や保守系の各種設定が行えます。



The screenshot displays the OnTime management center interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定 (selected), バックエンド (selected), フロントエンド, 名前書式, サーバー, ユーザー設定, グループ設定, and 凡例. The main content area is titled 'グローバル設定 バックエンド' and includes sections for '同期設定', 'ログ設定', 'Authentication', and '拡張設定'. Each section contains specific configuration fields and options.

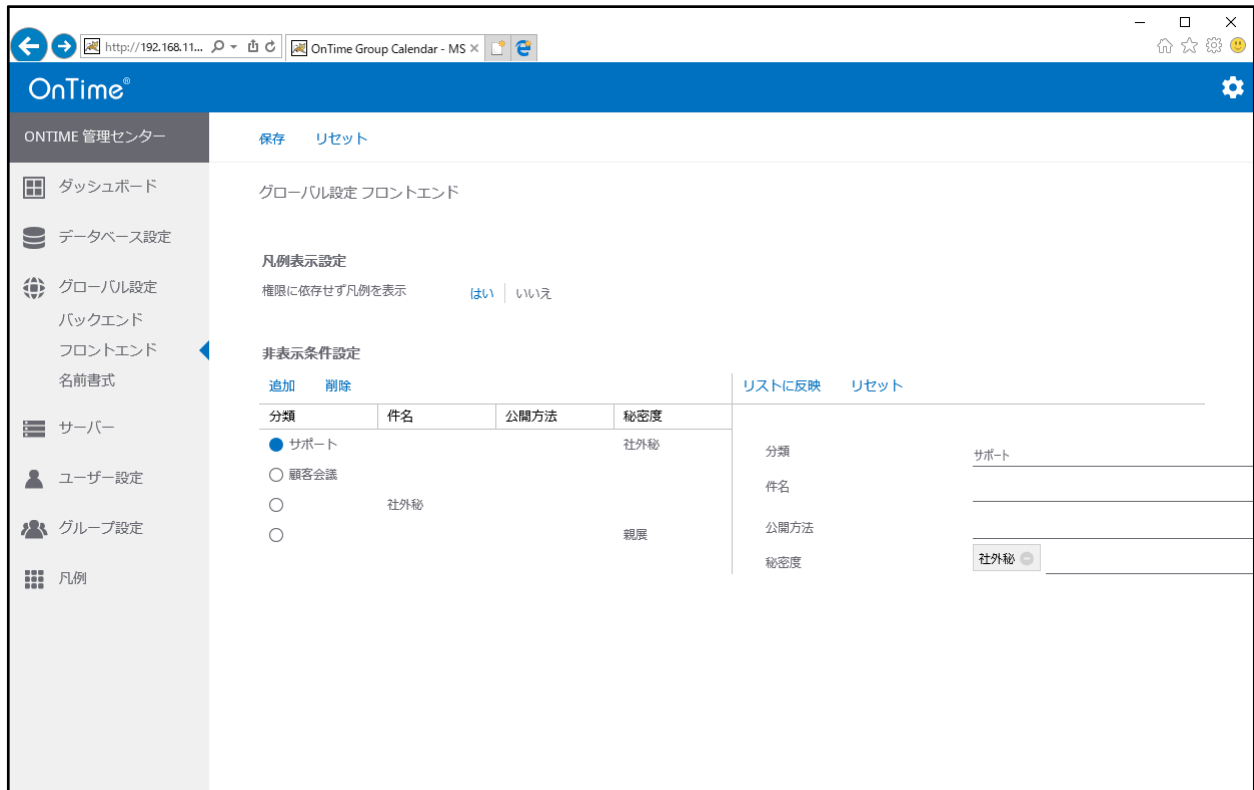
項目	設定値	説明
過去の同期期間	100 日	
未来の同期期間	180 日	
サーバー起動時にサービスを起動	はい   いいえ	
ログレベル	詳細(++)	
ログサイズ	500 MB(50MB毎に1ファイル...)	
接続のトレース	はい   いいえ	
Authentication Service の URL	http://192.168.168.168/ontime/auth.html	
Token期限	7 日	
Auto Discoverの最大数	90	(リクエスト毎のユーザー...)
起動時のスレッド数	2	(起動時のスレッド数)
シンクのスレッド数	2	(Sync時のスレッド数)
最大イベント件数	1000	(カレンダー毎の予定最大同期数)

項目の内容については次ページでご説明します。

<b>同期設定</b> Exchangeとの同期期間を指定できます。但しOffice365はそもそも2年分しか保持していないことを留意下さい。	
過去の同期期間	過去の同期期間の日数を指定します
未来の同期期間	未来の同期期間の日数を指定します
サーバー起動時にサービスを起動	初回の設定作業時は「いいえ」にして作業を行って頂くことで設定変更の度に同期が勝手に起動しないように出来ます。 設定が完了すれば「はい」に切り替えて頂くことでTomcatが起動する度に自動で各同期サービスが起動するように出来ます。
<b>ログ設定</b> Tomcatのログのレベルと保存するファイルサイズを指定できます。通常は変更しないで下さい。	
ログレベル	ログレベルを変更することでログの内容を変更出来ます。
ログサイズ	総ファイルサイズを指定できます。 いずれにしても50MB毎に新しいファイルが作成されます。
接続のトレース	更なる細かいトレースデータが必要になる際に「はい」にします。 通常は「いいえ」にしてください。ログファイルは別途作成されます。
<b>Authentication</b>	
Authentication Service URL	ADとのSSOを使用する際に以下を指定します。通常は以下のurlとなります。 <a href="http://+/ontime/auth.html">http://+/ontime/auth.html</a> 又は <a href="https://+/ontime/auth.html">https://+/ontime/auth.html</a> ADのメール(mail)属性にアカウントとなるメールアドレスを登録して下さい。  AD-FS連携のSSO(SAML)を使用する際に以下を指定します。 通常は以下です。OnTimeはhttpsが必須となります。 <a href="https://+/ontime/acs.html">https://+/ontime/acs.html</a>  ADとSSOを設定しない場合は空白です。 上記AD-FS連携の設定する際にはお問い合わせ下さい。
Token期限	OnTimeのToken有効期限を指定出来ます。
<b>拡張設定</b> 通常は変更しないで下さい。	
Auto Discoverの最大数	90は現行Office365の最大設定です。
起動時スレッド数	スレッド数の変更はOnTimeサポートから依頼無しでは変更しないで下さい。
シンクのスレッド数	スレッド数の変更はOnTimeサポートから依頼無しでは変更しないで下さい。
最大イベント件数	1000は現行Office365の最大設定です。

## グローバル設定-フロントエンド

このページではユーザー向けの各種設定が可能です。

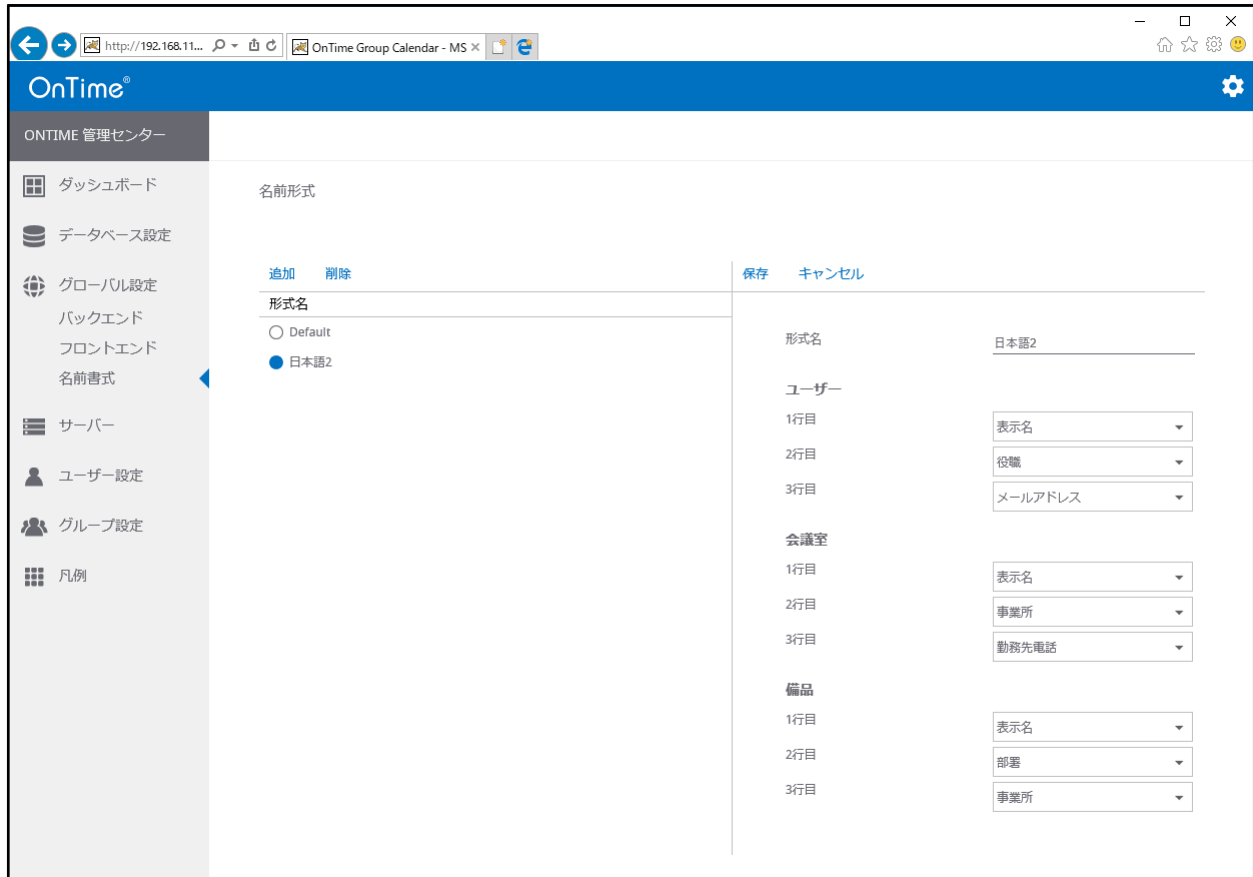


凡例表示設定	
常に凡例を表示	はい・・・参照しているユーザーへの権限に依存せず凡例の色で表示します。 いいえ・・・参照しているユーザーへの権限がある場合に凡例の色で表示。

非表示条件設定	
指定した条件に合致する場合は、他人にはその予定を表示されないように出来ます。 条件は複数登録可能です。 項目はOutlookで指定出来る内容と同じです。AND条件となります。 ただし、この機能はOnTime内の機能なのでOutlookで直接共有で開く場合には表示されますのでご注意ください。	
追加 削除	追加・・・非表示条件を新規に作成します。 削除・・・選択した非表示条件を削除します。
リストに反映 追加しない	リストに反映・・・設定した条件を非表示条件リストに追加します キャンセル・・・設定中の非表示条件の編集をやめます

## グローバル設定-名前書式

このページでは名前表記をカスタマイズ出来ます。  
 こちらで準備した複数の名前表記は後述するユーザー設定にて個別のユーザーやグループに反映出来ます。  
 名前書式の修正後、ユーザーのデフォルト設定には即時で反映はされません。  
 一度名前を変更して保存して再度ユーザーのデフォルト設定に反映させて下さい。



名前書式	
追加 削除	追加・・・名前書式を新規に作成します。 削除・・・選択した名前書式を削除します。
保存 キャンセル	保存・・・表示した名前書式に追加します キャンセル・・・設定中の非表示条件の編集をやめます

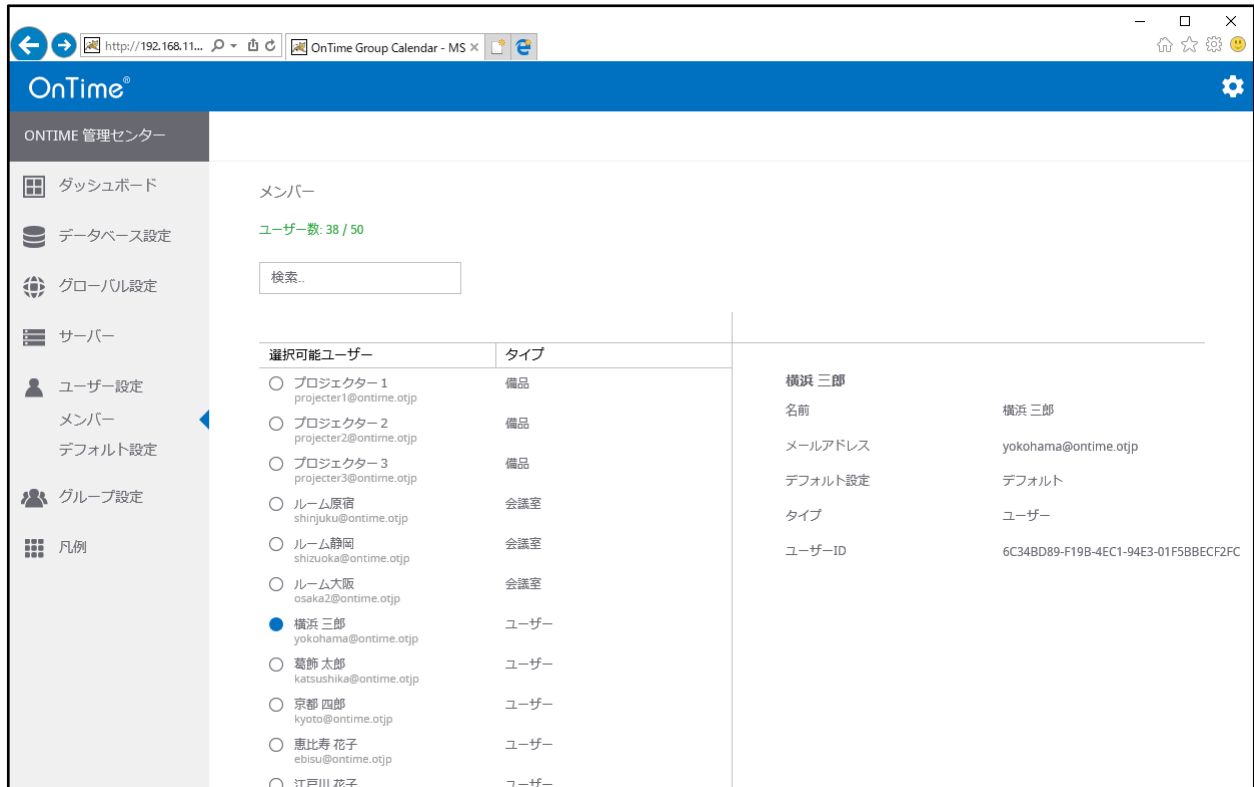
設定項目	
形式名	管理用の名称です。 ユーザーのデフォルト設定ではこの形式名が選択肢に表示されます。
ユーザー 会議室 備品	各タイプ毎に表示内容を設定出来ます。
1行目 2行目 3行目	メインビューでの表示及びユーザープロフィールで表示されます。 選択項目はExchangeのユーザー情報から選択します。



## 5. OnTime 管理センター

### ユーザー設定 - メンバー

このページでは OnTime で同期しているユーザーを確認出来ます。  
 検索を使用して表示名から検索することも出来ます。  
 リストを選択することで右に適用されたデフォルト設定など詳細な情報が表示されます。



OnTime 管理センター

ダッシュボード  
データベース設定  
グローバル設定  
サーバー  
ユーザー設定  
メンバー  
デフォルト設定  
グループ設定  
凡例

メンバー  
ユーザー数: 38 / 50

検索:

選択可能ユーザー	タイプ
<input type="radio"/> プロジェクター1 projecter1@ontime.otjp	備品
<input type="radio"/> プロジェクター2 projecter2@ontime.otjp	備品
<input type="radio"/> プロジェクター3 projecter3@ontime.otjp	備品
<input type="radio"/> ルーム原宿 shinjuku@ontime.otjp	会議室
<input type="radio"/> ルーム静岡 shizuoka@ontime.otjp	会議室
<input type="radio"/> ルーム大阪 osaka2@ontime.otjp	会議室
<input checked="" type="radio"/> 横浜 三郎 yokohama@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 葛飾 太郎 katsushika@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 京都 四郎 kyoto@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 恵比寿 花子 ebisu@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 江戸川 花子	ユーザー

横浜 三郎

名前: 横浜 三郎

メールアドレス: yokohama@ontime.otjp

デフォルト設定: デフォルト

タイプ: ユーザー

ユーザーID: 6C34BD89-F19B-4EC1-94E3-01F5BBECF2FC

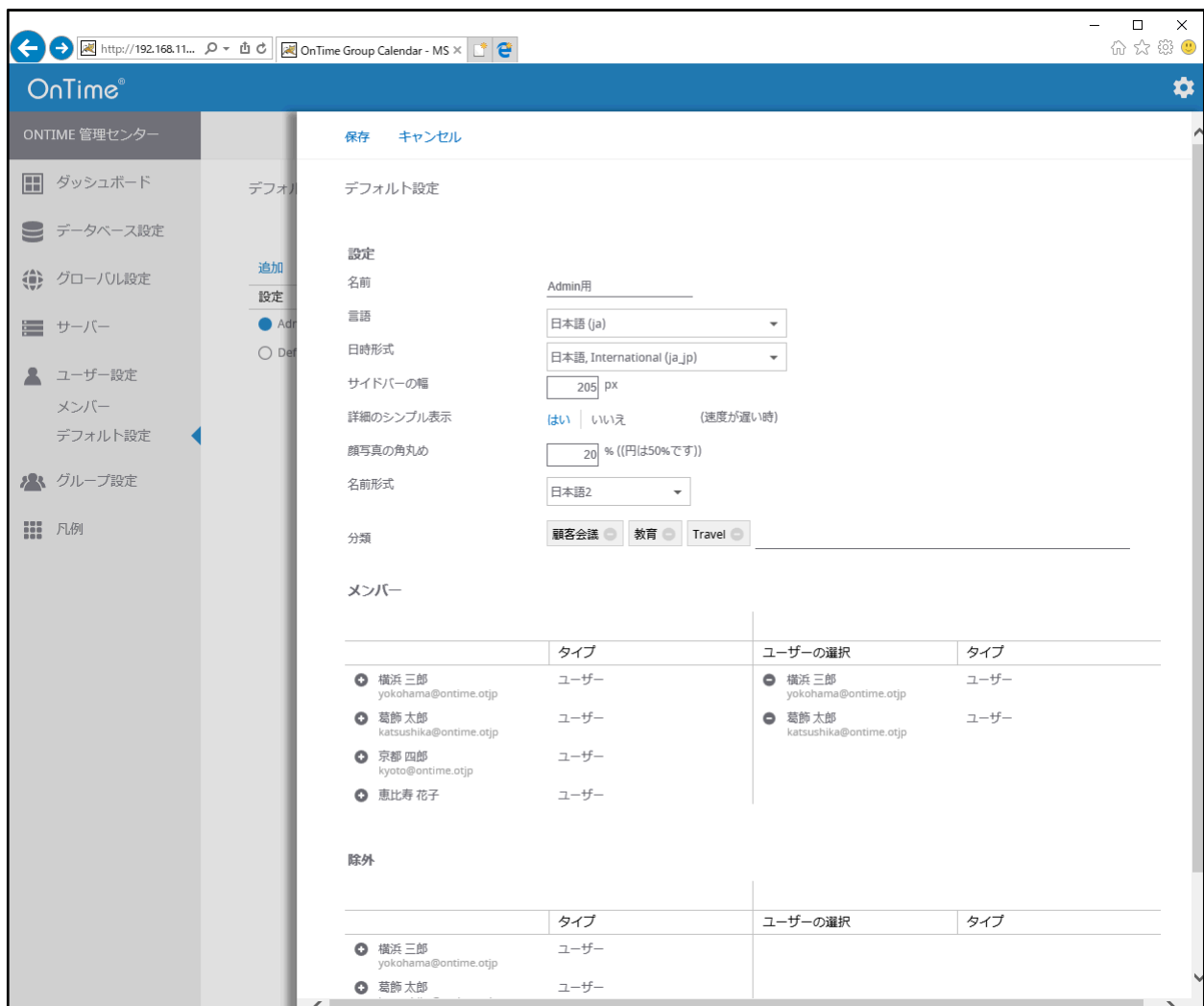
## ユーザー設定-デフォルト設定

このページではユーザーが初回にログインしたときの言語や日付書式の設定他が設定できます。



設定	Admin用
言語関連	Admin用
言語	日本語 (ja)
日時書式	日本語, International (ja_jp)
表示関連	
分類	顧客会議, 教育, Travel
サイドバーの幅	205 px
顔写真の角丸め	20 %
名前書式	日本語2
パフォーマンス	
詳細のシンプル表示	はい
メンバー	除外

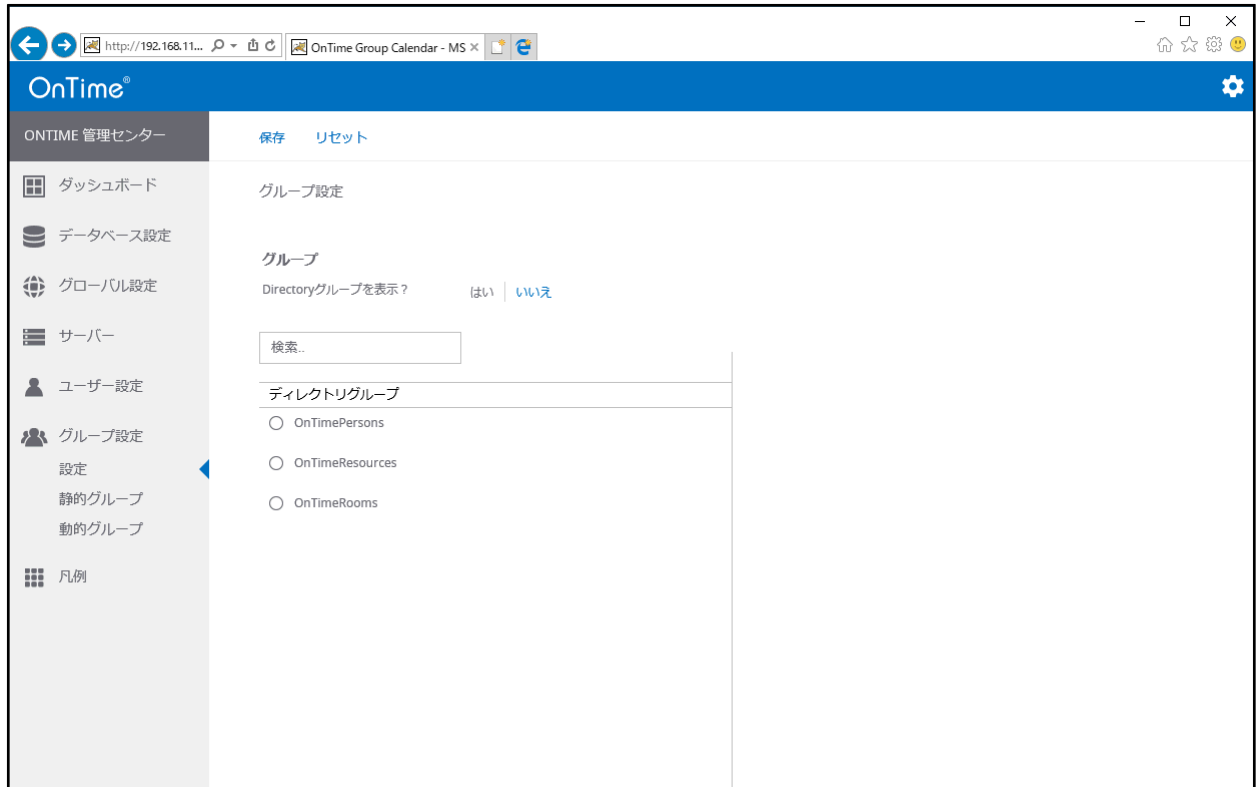
追加もしくはリストから選択して編集を押すと次ページのような画面となります。



言語	ご利用になる言語を選択して下さい。
日時書式	ご利用になる日時書式を選択して下さい。 現在では「日本語 Imperial」はサポート終了しました。
サイドバーの幅	左に表示されるサイドバーの横幅をピクセル単位で設定できます。
詳細のシンプル表示	サーバーが高負荷な場合、予定詳細の最初の表示をシンプル化することでサーバーの負担を軽減できます。実施する際は「はい」を選択して下さい。
顔写真の角丸め	顔写真を正四角(0)から正円(50)まで制御できます。
名前書式	使用する名前書式を指定出来ます。
分類	ご利用になる分類の選択肢をカンマで区切って登録下さい。 選択肢はユーザーのイベント作成画面の分類の選択肢として表示されます。 Outlook上の色分類と同等機能ですが、色表現については更にその他の条件と共に細かく制御できます。詳細は「凡例」を参照下さい。
メンバー	適用するユーザーを指定します。

## グループ設定 - 設定

このページではディレクトリ上のグループを表示グループに使用するかを設定できます。  
個別グループ毎の表示/非表示は指定できません。

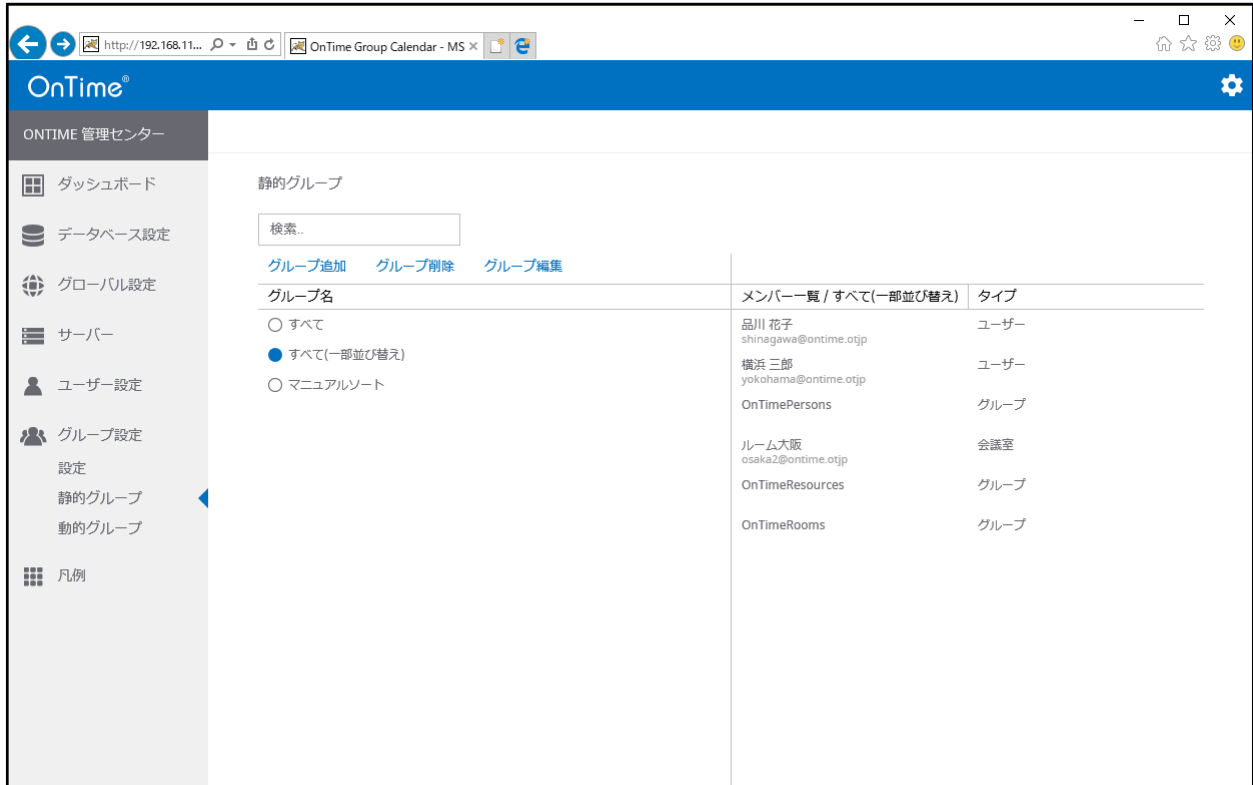


The screenshot shows the OnTime management center interface. The browser address bar displays "http://192.168.11...". The page title is "OnTime Group Calendar - MS". The interface includes a navigation menu on the left with the following items: "ダッシュボード", "データベース設定", "グローバル設定", "サーバー", "ユーザー設定", "グループ設定" (with sub-items "設定", "静的グループ", "動的グループ"), and "凡例". The main content area is titled "グループ設定" and contains a "グループ" section with a toggle for "Directoryグループを表示?" set to "はい". Below this is a search box labeled "検索.." and a table titled "ディレクトリグループ" with three rows: "OnTimePersons", "OnTimeResources", and "OnTimeRooms", each with an unselected radio button.

## グループ設定 - 静的グループ

このページではOnTimeユーザーが出来る静的表示グループを作成出来ます。  
静的グループは表示グループ名とそのメンバーとなるExchangeユーザーやExchangeグループを直接指定する事が出来ます。Exchangeグループ内のユーザーが変更になっている場合は、深夜2時のAdmin処理で更新されます。  
またグループを表示出来るユーザーを制限出来ます。

静的表示グループ一覧画面  
表示グループを選択すると右にメンバー一覧が表示されます。「グループ編集」で編集が出来ます。

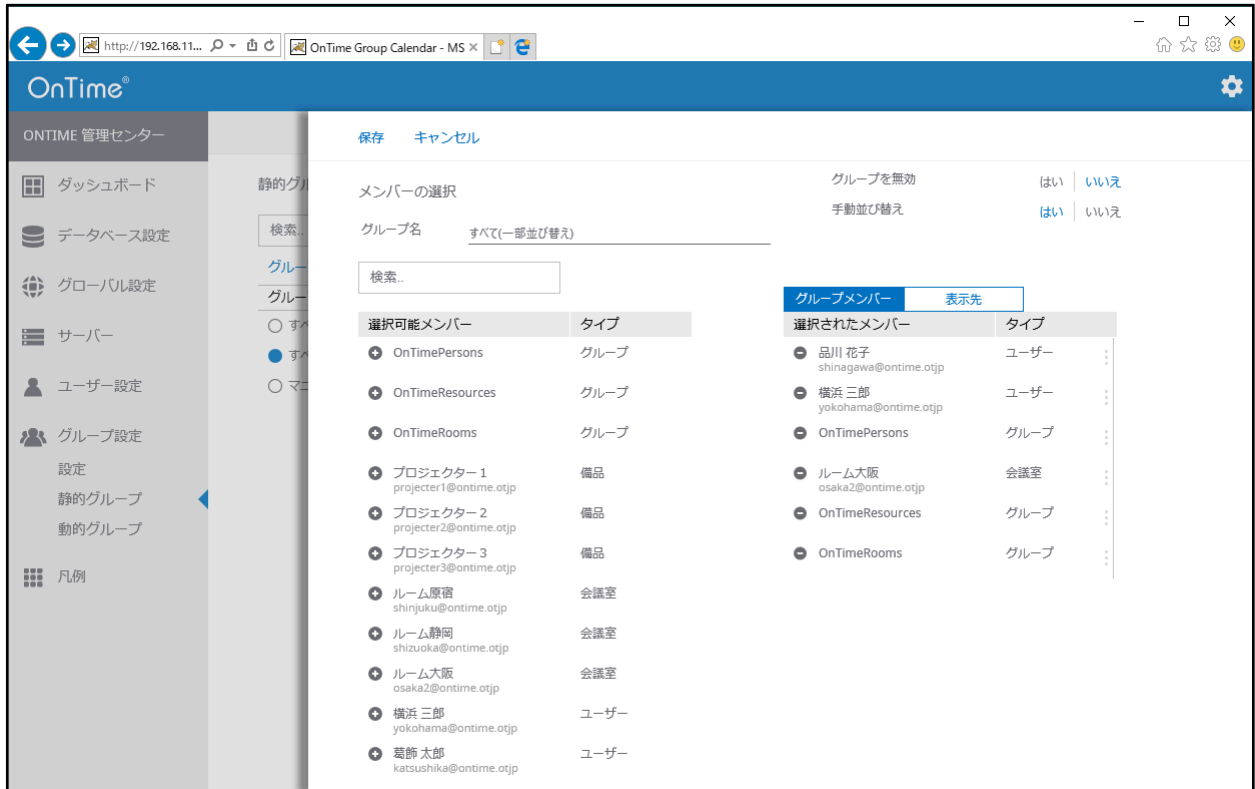


The screenshot shows the OnTime management center interface. The sidebar on the left contains the following menu items: ONTIME 管理センター, ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, サーバー, ユーザー設定, グループ設定 (with a sub-menu for 静的グループ), and 凡例. The main content area is titled '静的グループ' and features a search input field with the placeholder text '検索..'. Below the search field are three buttons: 'グループ追加', 'グループ削除', and 'グループ編集'. A table displays the list of static groups with the following columns: 'グループ名', 'メンバー一覧 / すべて(一部並び替え)', and 'タイプ'. The table contains the following data:

グループ名	メンバー一覧 / すべて(一部並び替え)	タイプ
<input type="radio"/> すべて	品川 花子 shinagawa@ontime.otjp	ユーザー
<input checked="" type="radio"/> すべて(一部並び替え)	横浜 二郎 yokohama@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> マニュアルソート	OnTimePersons	グループ
	ルーム大阪 osaka2@ontime.otjp	会議室
	OnTimeResources	グループ
	OnTimeRooms	グループ

編集画面を開くと次ページのようにになります。

静的表示グループ編集画面では表示グループ名とメンバーやグループを選択します。



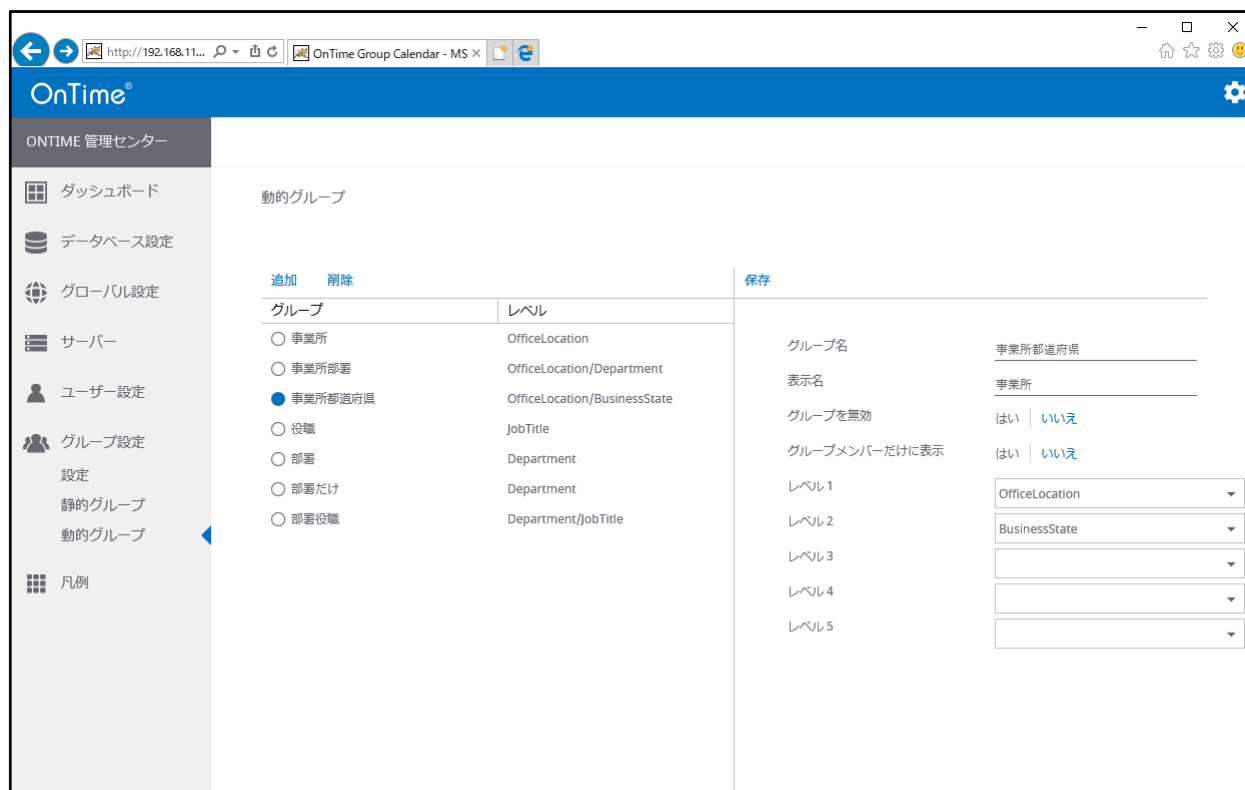
静的表示グループ設定	
グループ名	表示名を入力します。スラッシュ(/)を入れると名前を階層表示出来ます。
グループを無効	一時的に利用しない場合は「はい」を選択して下さい。
手動並び替え	メンバーを手動で並べ替えする場合は「はい」を選択して下さい。 「はい」を選択するとメンバーリストの右側にドラッグ出来るマークが表示されますので適宜ドラッグして下さい。 個別に移動させたユーザーやリソース以外のグループ内メンバーはデフォルトのソート順で表示されます。
表示先	全員……………OnTime利用の全メンバーに表示されます。 グループメンバー…グループに登録されているメンバーだけに表示され ます。 カスタム……………個別に表示先を選択出来ます。

## グループ設定- 動的グループ

このページはOnTimeユーザーが全員で利用出来る動的表示グループを作成出来ます。  
動的グループはExchangeユーザーの組織属性を利用して多階層のグループを自動生成する機能です。  
作成したグループ設定は毎深夜2時のAdmin処理で更新されます。

動的表示グループ設定一覧画面

動的表示グループ設定の新規登録と編集が行えます。設定を選択すると右に設定の詳細が表示されます。



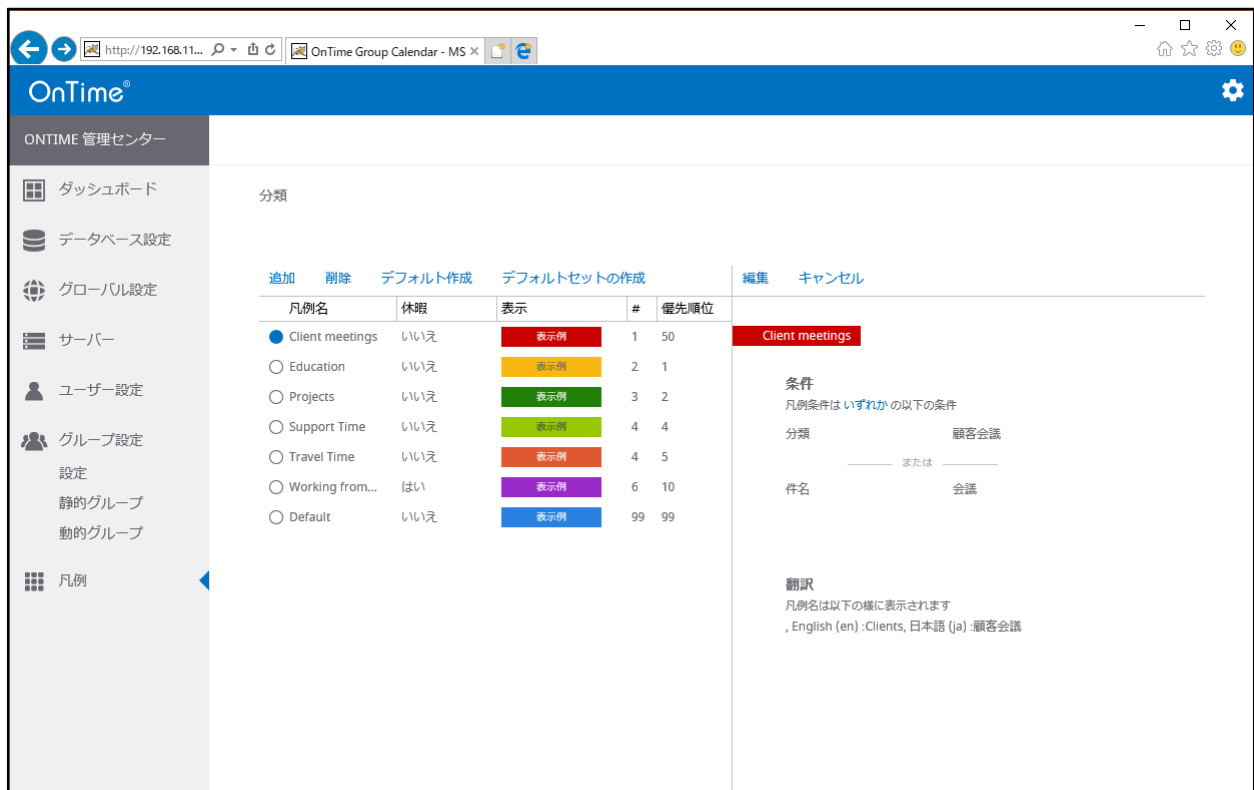
設定画面では各項目を設定します。

グループ名	OnTime管理センター内での識別用の名前を設定します
表示名	OnTimeクライアントでグループ階層のトップに表示される名称を指定します。他の設定と同じ表示名にすると同じ階層に表示されます。
グループを無効	一時的に使用しない場合は「はい」を選択します。
グループメンバーだけに表示	グループに登録されているメンバーだけに表示する場合は「はい」を選択します。
レベル1、2、、、、	グルーピングする階層ごとに属性を選択します

## 凡例

OnTime上での色分類を凡例として設定します。  
 OnTimeでの色表現はOutlookの色分類とは若干違います。  
 同じ設定にも出来ますし、Outlookの分類に依存せず、件名に含まれる文字列や公開方法などで指定も出来ます。

凡例一覧画面  
 管理している凡例が表示されます。  
 デフォルトセット作成を押すと基本的な設定をサンプルとして作成されます。作成後はもちろん自由に編集可能です。



The screenshot shows the OnTime management center interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, サーバー, ユーザー設定, グループ設定 (静的グループ, 動的グループ), and 凡例. The main content area is titled '分類' (Classification) and features a table with columns for '凡例名' (Category Name), '休暇' (Holiday), '表示' (Display), '#', and '優先順位' (Priority). The table lists various categories like 'Client meetings', 'Education', 'Projects', etc. To the right of the table is an edit panel for the selected 'Client meetings' category, showing '条件' (Conditions) and '翻訳' (Translations) settings.

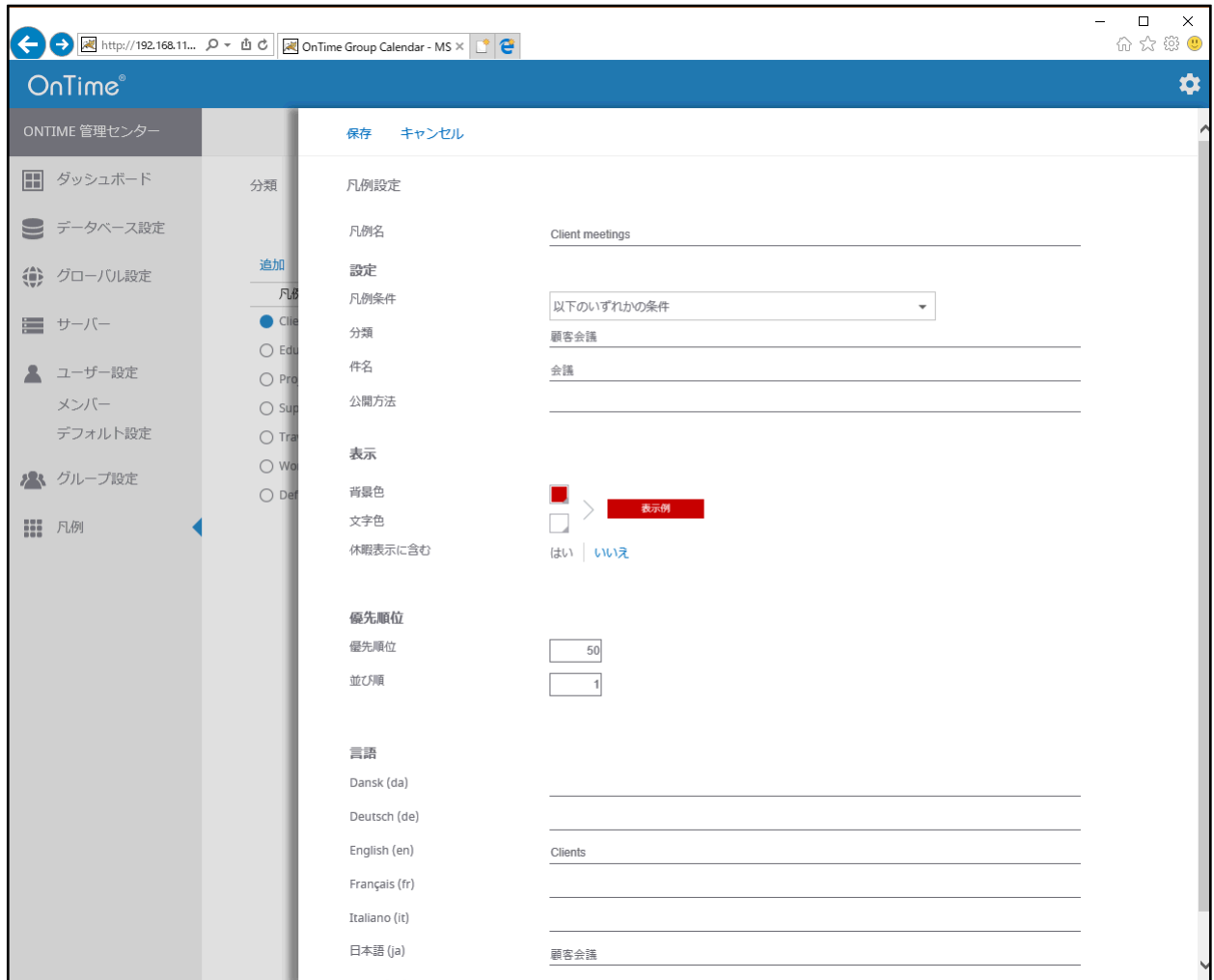
凡例名	休暇	表示	#	優先順位
<input checked="" type="radio"/> Client meetings	いいえ	表示例	1	50
<input type="radio"/> Education	いいえ	表示例	2	1
<input type="radio"/> Projects	いいえ	表示例	3	2
<input type="radio"/> Support Time	いいえ	表示例	4	4
<input type="radio"/> Travel Time	いいえ	表示例	4	5
<input type="radio"/> Working from...	はい	表示例	6	10
<input type="radio"/> Default	いいえ	表示例	99	99

**Client meetings** edit panel details:

- 条件:** 凡例条件は **いずれか** の以下の条件
- 分類:** 顧客会議
- 件名:** 会議
- 翻訳:** 凡例名は以下の様に表示されます  
 , English (en) : Clients, 日本語 (ja) : 顧客会議

凡例を選択するか追加をクリックすると次ページのような画面が表示され編集が出来るようになります。





凡例名	管理センター内での識別用の名前を設定します
<b>設定</b>	
凡例条件	AND条件かOR条件にするかを設定します
分類	分類の名称を選択します
件名	件名に含む文字列を指定します
公開方法	公開方法の種類を指定します
<b>表示</b>	
背景色	背景色を選択します
文字色	文字色を選択します
休暇表示に含む	この条件のイベントを休暇ビューに表示するかを設定します
<b>優先順位</b>	
優先順位	複数の凡例条件に合致した場合の優先順位を指定します
並び順	凡例表示の表示順を指定します
<b>言語</b>	
各言語	各言語モードでの表示名を設定します

6.その他 -

---

## FAQもご参照下さい

FAQにも各種情報をご提供しております。  
適宜ご参照下さい。

FAQサイト

<http://www3.ontimesuite.jp>